

地域の思いを熊本の現地へ

7月末、大地震に見舞われた熊本県、中津江でも大きな揺れを感じました。今回、震度7を観測し甚大な被害を受けている宇城市で、8月23日に災害ボランティア活動を行いました。

私たちの地域も、令和2年の豪雨災害で大きな被害を受けましたが、その時多くの皆さんからいただいた、温かい支援への感謝を熊本にと、高木会長はじめ13名で参加。暑い中ではありましたが被災家屋のブロック塀や瓦の搬出と運搬のお手伝いをさせていただきました。今回は一部のメンバーでの活動となりましたが、被災された方々を思う気持ちは地域の皆さん、それぞれにあるのではないのでしょうか。そんな皆さんの気持ちも一緒に届けられたのではないかと思います。災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、あの時いただいた支援を、今度は私たちが誰かにつないでいく。そんなつながりを、これからも大切にしていきたいと思っています。

倒れたブロック塀の積込



落ちた屋根瓦の片付け

令和2年の豪雨災害時に御寄付いただいた支援金から10万円を熊本の被災地に送らせていただきました。また、むらづくり役場には熊本地震災害義援金箱を設置しています。



デマンドバスでお食事に・・・

デマンドバスが無料で利用できる「バスの日」、公共交通に親しんでもらおうと、今年は8月30日にしもうけ館でダム建設の歴史などについて学んだ後、鯛生金山での食事や上津江道の駅で買物を楽しみました。コース設定が遅くなったこともあり、参加者は6人と少なめでしたが、イベントを企画している「くらす部会」では、こうしたデマンドバスの利用促進をきっかけに、移動手段や買物など地域での暮らしを見直したり、イザという時にも使える写真撮影会の実施を検討したりと楽しく無理なく暮らせる地域づくりを考えています。



今年も豊作を願いつつ・・・

昨年度から「つくる部会」が遊休農地を使って栽培している秋ソバ。今年も種まきの時期を迎えました。去年の落穂が育ち、大量の花を咲かせていて「もしかしたら夏ソバが収穫できるかも」と期待しましたが、残念ながら空実でした。そこで、めげない部会員(笑)直ぐに、秋ソバ栽培に取りかかり、昨年より大粒の種を畑へと隣てすくすく成長している落花生とともに、秋の収穫を待つばかりとなりました。部会員を中心に楽しみながら活動を行っています。今後は小学生や地域の方の体験にも繋げていきたいと考えています。

イザという時のために・・・

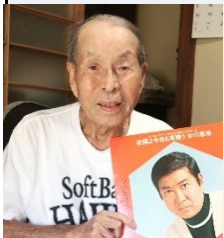
地域の安心・安全を考えることをテーマに活動している「まもる部会」では、8月3日に通算で3回目となる生活道路点検を行いました。

災害時に幹線道路が通行できない場合、う回路として利用が可能か、通行に支障がないかなど部会員と振興局職員とで巡回。今回は板野地区の市道、林道、県道を中心に回りましたが、対向車との離合に苦労したり、ガードレールのない狭い道路にドギマギしたりしながら、道路状況の確認を実施してきました。

特にう回路として重要な路線である「市道田ノ口線」等は路面の損傷が著しく、法面や路肩も崩壊が危惧される箇所が散見されるなど、今後の大規模改修が必要ではないかと感じさせられる点検となりました。今後は、点検結果をまとめた『う回路マップ』のような物が出来ないか検討していく予定です。



若い頃から、読書家で野球少年だった中原さん。今でも毎日、新聞や週刊誌は欠かさず読み、今まで読んだ本は2,000冊を優に超えているそうです。野球ではピッチャーの腕を買われ、鯛生金山再興時の金山野球部の入部を託され、午前中は役場の仕事、午後から野球部練習の日々を過ごしたとか。日田郡野球大会では所属していた川辺チームで県大会へ、また他のチームからも選手で出て欲しいと依頼され、大分県大会12年間ピッチャーとして出場したそうです。ただし、ご本人の夢はシェフだったそうで、奥様いわく魚を捌いたり、煮る、焼く何でも本格的



中原 邦彦さん
(田/原)91歳
昭和10年生まれ

で美味しいそうです。毎晩の熱燗1合と、毎日2回の血圧測定、深夜0時までの読書、レコードを聞きながら歌う歌謡曲が中原さんの若さの秘訣のようです。18番は石原裕次郎の「港町涙町別れ町」中原さんの声にピッタリ。これからも丁寧な生活で、若々しくお過ごし下さい。

地域のお宝！
今月のご長寿さん..

地域のお宝！
今月の若え..

5年生は3人ですが、皆んな元気で仲良し。よく喋っては笑っているクラスと話す藍乃介君は、質問にハキハキと答えてくれました。得意科目は算数、化学実験が面白い理科。1日で一番好きな時間は、友達と遊んでいる時。友達がしょんぼりな時は、面白い事を言って励ます友達思いの性格です。学校行事の田植え体験では、泥の中の足の感触がたまらず、宮園神社麦餅つき祭りでは、お清めの水場に何回も飛び込んで、とても楽しかったそうです。また上級生で行った熊本のプラネタリウム見学や公民館事業のナイトウォーキングや沢登りでは、リーダーとして活躍、とても楽しい体験をしたそうです。9月から宮田集落に転入予定で、中津江村は自然がいっぱいで好きですとの事。お父さんが作るスパゲッティや日田焼きそばが好物。運動会では中太鼓を担当、友達みんなで作る鼓笛演奏、頑張ってくださいね。



津江小学校5年生
せんぼくや あいのすけ
仙北谷藍乃介さん

こんにちは！

津江小中学校育友会です！

～ 給食試食会&リユース会&壮行会 ～

◆育友会活動や子育てについて語り合おう！◆

6月8日、こころ部では第1回「給食試食会&かたらん会」を開催し、8名の方にご参加いただきました。当日は給食を囲みながら、子育てや学校生活について気軽に話し合い、和やかな雰囲気の中で交流を深める時間となりました。また同日午後には、中学総体の壮行会を見学し、大会に向けて意気込みを語る子どもたちの姿から、日々の成長を感じる機会となりました。さらに別日には、制服や体操服などの「リユース会」も実施し、必要とする方へ大切に受け継いでいただくことができました。今後も、保護者同士がつながり気軽に交流できる場づくりを続けていきたいと思います。



(右上) リユース活動 (左上) 当日の献立
(右左) 試食会の様子 (右下) 中学総体壮行会

つれづれ

「今回は全く！ うんともすんとも言わん！ 完全に壊れてる！」送られてきたスマホのLINEには、ビックリマークが並んでいる。「今回は全く」って？ 休みの度に遊びに出かけている私への！か？ と思ったら、どうやら自宅のテレビのことらしい。コンセントを抜いたり差したり、だましだまし使っていたのだが。家を建てて15年、テレビに限らず、家電を中心に色んなモノが少しずつ寿命を迎えている。スマホ片手の子どもの中には「テレビなんて見なくていいじゃん」と言われるが、昭和生まれのオジサンにとって情報源はSNSよりテレビだったり、新聞だったりするんだよね。ということで、早速その日のうちに量販店へ。新しモノ好きの私はウキウキしながらテレビの電源をON！...それこそ、うんともすんとも言わん！ 画面は映っているがGoogleでサインインしろだとか、パスワードを入れろだとか。汗だくになりながら、どうにかこうにか野球中継が見られるようになった。👏「良かったわねえ。機械だけじゃなくて、あちこちガタがくる歳だから、気を付けてね。」隣から、ありがたいお言葉。"テレビショッピングで、要らんモノまで買わんごせにやね。"とはさすがに言えず、黙って2杯目のハイボールに手を伸ばした。[描蔵]

小学生との交流が続いています！

津江小学校(児童15人)の子ども達と様々な形で交流が続けられています。田植えや宮園神社の餅つき祭への参加など、体験による地域の方との交流に加え、学校内では本の読み聞かせや総合学習で住民自治組織の勉強、平和授業で地域の方の講話を聞くことも。そして11月には「ふるさとまつり」にも参加するなど、近年になく地域に開かれた学校教育が進んでいる気がします。年に数回、誰でも参加できるオープンスクールもあります。皆さんも子ども達の様子を見に、学校へ行ってみたいはいかがですか。

